

美術科デザイン専攻ビジュアルデザイン1年次課題作品展

2014年 4月21日～5月2日



デザイン専攻ビジュアルデザインコース2年生が1年次後期の授業で取り組んだ課題作品を展示。ポスター、商品企画、パッケージデザインなどが並びました。

●その他の作品展  
プロダクトデザインコースレビュー  
2013(プロダクトデザインコース)  
/久保です。(久保明穂)/ありの  
まま(石井里菜)/彼方(飯)(三樹  
真里乃)/第4回美術作品合同展  
(美術科学生)

表紙の顔

本広報誌の表紙モデルは、各学科から頑張っている学生に登場してもらっています。今回は、情報コミュニケーション学科2年の岡田さん、佐藤さん、原田さん、竹尾さん、吉田さん、森さん、安永さん、

●「街なかにきわいプラン」のチラシデザインを担当  
商店街活性化を目指したプランを募集するチラシデザインを、美術科デザイン専攻の高瀬七海さんが担当しました。

●自動車税納期内納付啓発ポスターデザイン  
自動車税の納期内納付を呼びかけるポスターとチラシを制作。美術科デザイン専攻の首藤優佳さんと大石葉月さんの作品が採用され、金融機関やショッピングセンターなどに掲示されました。

●県産菓子パッケージを共同制作  
県産力ホスを使ったまんじゅう「恋する香ばす(宝物産)」のパッケージデザインに、美術科デザイン専攻の池部菜菜さんのアイデアが取り入れられ、共同制作を行いました。

日々は精進

学友会情報

学友会では、年間を通して充実した楽しいイベントを企画しています。初々しい1年生を新しいメンバーに引き入れ、もっともっと芸短を盛り上げていきますよー！今年度のイベントは、これまで以上に学生一人一人が主体となり各学科や個人の特色を生かせるようにしたいと思っています。人文系の学生はもちろん、芸術系の学生も自分を表現できる場や空間作りにも動きます。芸短に革命の旋風を巻き起こしますーどうぞお楽しみに☆



地下道にアート作品を展示

美術科デザイン専攻メディアデザインの学生らが、JR大分駅の地下道にアート作品を展示。「ナーフクリフ」と題して「和を以て貴しと為す」の聖徳太子十七条の憲法を、独自の絵文字で表現しました。

音楽演奏会出演

【第5回おおいた新人演奏会】藤田英璃 奈(卒声楽) / 藤田真砂代(修ピアノ) / 南菜穂(修ピアノ)  
【読売新聞第84回新人演奏会】岩本菜郷(卒声楽) / 共演 佐野佑実香(卒ピアノ) / 清水絵里(卒ピアノ)  
【日本ピアノ調律師協会第8回新人演奏会】藤田新人演奏会 / 南菜穂(修ピアノ)  
【別府アルゲリッチ音楽祭】室内楽マスタークラス / 中村匡希(ワイオリン) / 佐藤蘭(チェロ) / 甲斐田柳子(修ヴァイオリン) / 坂本薫(修ヴァイオリン)  
【別府アルゲリッチ音楽祭】大分県出身若手演奏家コンサート / 中山ほか(修トランペット) / 首藤里佳(修ピアノ) / 山口優里菜(卒声楽)

牧野さんです。彼女たちは「ものづくりサークル」のメンバーで、ものづくり女子隊としてイベントに参加。3Dプリンターやカッティングマシンを使った講座を開催し、ものづくりの楽しさを伝えています。

サービスマーケティング報告

竹田でアート

竹田の街をアートで盛り上げようとする地元アーティストさんや有志の皆さんと共に計画中です。この日は、昨年の竹田の時に本学学生と竹田を訪れたお客さん達が一緒に作り上げた巨大壁画の仕上げを行いました。この壁画は国道沿いの(有)ベネッツさんの建物の壁に飾られています。



第88回あしなが学生募金に参加

毎年春と秋に行われているあしなが学生募金活動が、この春も行われました。あしなが学生募金事務局が主催し、全国の遺児を支援する募金を集めています。県代表は本学の学生です。今回は100名を超える学生が参加しました。



大分もりアゲ隊

大分市を盛り上げるために大分青年会議所メンバーと市内の学生が作る学生ネットワークの活動が今年も始まりました。昨年は七夕ブロードウェイや夢色音楽祭のお手伝い、わくわくワークランドの企画を行いました。今年はどうな活動を行うのか、これからの会議で決まっています。

アースデイおおい

地球の事を思い行動する日として、世界中で定められた日がアースデイ(4月22日)です。大分では、27日(日)に別府公園に環境にやさしい団体が集い、様々なイベントが開催されました。本学学生も35名が参加、会場の設営やイベントの運営、ブースのお手伝いを通して、環境の事や地球の事についてじっくり考えてきました。



「大学で学んだことを地域で生かし、地域で活動することで学びの意義を知る」ことを目的としたサービスマーケティング。単なるボランティアでは終わらない、自主性・論理性・協調性のある「社会人力」を育成するプログラムを組んでいます。今回の報告のほかにも、様々な活動を行っています。

※サービスマーケティングの詳細は、<http://oitapc-cis.jp/>または<https://www.facebook.com/oitagetan.jyoucom>をご覧ください。

芸短オープンカレッジにおじゃまします

楽しい趣味からビジネススキルアップを目指すまで、さまざまな講座が揃った「芸短オープンカレッジ」。今回は、「陶芸講座」の教室におじゃましてきました。



〈陶芸講座〉毎週金曜日の18時～実施中。電動ろくろを用いて、水びき成形、電気窯による焼成で器を制作しています。



※前期陶芸講座の申込みは終了しています。後期講座のご案内は8月中旬頃にチラシ、本学HPにてご案内いたします。

受講者の友澤弥生さんにお話しをお伺いしました。

—受講しようと思ったきっかけは?—  
もともと陶芸に興味があって、新聞のチラシでこの講座の事を知り申し込みました。  
—受講してみてどうですか?—  
最初は難しく「ついていけないかな?」と不安だったけど、制作中は「無」になれるし、不格好でも形になってくるとすごく嬉しいし、楽しいです。  
—教室の雰囲気はどうですか?—  
みんな休憩も忘れて、しんけん制作に没頭しています(笑)。

取材にお伺いした時も、みなさん制作に集中していました。講師の谷口能隆先生は、「みなさん、楽しそうにやっています。これから制作を続けていくと、自分の成長が手に取るように分かると思います。そうすると、更に楽しくなっていくと思います」と話されていました。

学長コラム

新学期に当たって



中山 欽吾

似顔絵：学長秘書 佐々木優季

毎年、花々が咲き乱れるこのシーズンに入學式が行われ、気持ちが高揚する想いになるのは私だけではないでしょう。今年の入学式は、初めて学外に出てホルトホールで行ったために、入学式当日に満開だった本学正門の桜を、ご家族や保護者の皆様に観て頂けなかったことが少し残念でした。新入生の皆さんは翌日から、新入生エントランスで、何とか持ちこたえてくれた校と出会う、新たなスタートを実感された事と思います。こうして、今年もまた新学期がやってきたのです。そんなワクワクした気持ちで新学期がスタートし、本格的な授業が始まってもう二カ月が経ちました。新入生の皆さんはそろそろ大学の雰囲気にも慣れて、周りが見渡せるようになってきたのではないかと思います。また、上級生の皆さんもフレッシュな2年生が入ってきた事で、

てきた事で、少しは上級生としての自覚を持ち、後輩との交流なども始まっているかもしれません。特にサークルをはじめとする学友会の活動は、先輩と後輩の壁を取り払う効果がありますので、新入生の皆さんも何かを選んで始めてみることをお勧めします。

短大は2年で卒業ですが、人生はそこから新たな展開が始まります。本学はそれに備えて、様々な進路の選択や社会勉強ができる授業や活動も用意されています。ぜひ積極的に参加して下さい。また、学生と先生の距離が小さいことも本学の特徴です。分からない事があっても迷ったりしたら、まず先生に相談することです。多くの学生と接してきた経験から、きこく良き相談相手になって下さり、解決策のヒントやアドバイスをして下さることで、